

テーダマツのクリスマスツリー作り

大宰府東小学校の1年生70名の子供たちとテーダマツのマツボックリを使ってクリスマスツリー作りをしました。

「木片や木の実など自然の素材を使ってクラフトをすることで自然と親しみ森林への関心を高める」ことがテーマです。

まず自己紹介をクイズ形式で行い、子供たちが盛り上がったところで簡単森の言葉遊びです。カードに描かれている絵の頭文字をつないでいくと「も・り・が・だ・い・す・き」となります。次に大きなテレビモニターを使って山からの贈り物の紙芝居をしました。会場が広い体育館でしたので、前方で話を聞き後方でゆったりと作業をすることができました。

作り方の説明の後、早速作業開始です。小さく切ったスギの小枝にボンドをつけ、マツボックリの隙間に差し込んでいき次に木の実などを飾り付けていきます。担任の先生からはまだハサミもスムーズに使えない子も多いとお聞きしていましたが、小さな手で一生懸命作品作りに取り組んでくれました。綿で覆われたツリーや飾ったどんぐりに顔が一つ一つかいてあるものや、思わず笑みがこぼれるような個性豊かな、世界に一つのツリーが約一時間の製作時間で出来上がりテーブルに並びました。最後に第二弾の「簡単森の言葉遊び」をしました。絵の頭文字をつなぐと「も・り・へ・い・こ・う」となり声を合わせて読み終了となりました。

森からの贈り物だからと言って残りの木の実を大事に持ち帰る子供たちの様子が可愛くて暖かな気持ちで子供たちを見送り、振り返りをして終了しました。

轟 高田 廣 戸町 溝口 大森 常藤 井上 大熊 丸山 (記 戸町)

